

各 位

2018年8月6日

株式会社 オロ

イトリアル株式会社の"経営の見える化"を実現、 クラウド ERP「ZAC Enterprise」の導入事例を公開

株式会社オロ（東京都目黒区 代表取締役社長 川田 篤、以下オロ）は、イトリアル株式会社（東京都新宿区 代表取締役社長 田中 尚、以下イトリアル）にお伺いした、オロのクラウド ERP「ZAC Enterprise」（以下 ZAC）の導入事例インタビューを公開いたします。同社は、"原価の見える化・経営の見える化"の実現のため ZAC を活用し、さらには中長期的な経営計画の実現に向けた経営管理を実践しています。

<インタビューピックアップ>

- ・ ZAC 導入の決め手となったポイントとは？
- ・ "原価の見える化・経営の見える化"を実現した、ZAC の導入効果とは？



■使いやすさと高い機能性、短期間で導入できる点が ZAC の決め手

EPS ホールディングス株式会社の傘下にあるイトリアルは、2013 年に EPS グループ内の IT 関連業務が同社に集約されることを機に、将来的な管理業務の煩雑化に備え、業務のシステム化を検討していました。事業集約のスケジュールはすでに決まっていたため、短期間で導入可能なシステムを中心に選定の上、ZAC が導入されました。導入に当たっては、①入力項目が最小限に絞られている分かりやすいプロジェクトの管理画面、②受注前の引合案件管理や確度別の売上見込管理、細かい原価配賦の設定ができる多機能性、③軽微なカスタマイズを加えても短期導入が実現可能な業種特化パッケージであること、が評価されました。

■原価の見える化：月末の集計作業を待たずにプロジェクト別の工数を把握

ZAC 導入前は Access や Excel を活用して工数管理を行っていましたが、月末に経理が集計した後でなければ、作業工数を確認できませんでした。ZAC 導入後は社員が入力した工数が即座にプロジェクトに反映され、タイムリーな原価管理が可能になりました。また、これまで全社員同一で計算していた時間単価も、職種やグレードによって設定を変え、プロジェクトの実態にあった原価計算を実現しています。

■経営の見える化：プロジェクトごとの正確な損益管理により、利益意識が向上

作業工数がタイムリーにプロジェクトの損益へ反映されるようになったことで、管理職がメンバーそれぞれの時間単価を意識し、より多くの利益が出るようアサインを工夫するなど、利益意識の向上に繋がりました。また、セグメント別の正確な採算が可視化されたことで、どの分野に注力すべきか・どの分野を改善すべきかが可視化され、経営判断の精度も向上。意識変革だけでなく、実際の利益も着実に向上しています。

業務効率化だけでなく、中長期的な経営計画の実現に向けて ZAC がどのように貢献しているのか。イトリアル様の導入事例インタビューをぜひご覧ください。

【ZAC 導入事例インタビュー】

<https://www.oro.com/zac/casestudy/case62.html>

<本リリースに関するお問い合わせ>

株式会社オロ マーケティンググループ 担当：藤澤 TEL：03-5843-0653 / Mail：zac@jp.oro.com

■ クラウド ERP「ZAC Enterprise」の特長

「ZAC Enterprise」はプロジェクト別・案件別の利益管理を実現するクラウド ERP です。プロジェクト管理・販売管理・購買管理・勤怠管理・経費管理から管理会計・BI ツール・グループウェア機能を有し、業務効率化による生産性の高い利益体質の組織を実現します。2006 年の提供開始以来、500 社以上の導入実績、130,000 ライセンス以上の販売実績を有しております。

特長1 クラウド SaaS 対応の ERP

クラウド・SaaS 型によるサービスの提供により、サーバー等のシステム導入に伴う各種設備投資が不要となります。日々のデータのバックアップやメンテナンスなどの保守・運用はオロのデータセンタで管理されるため、運用にかかる固定費・人件費の削減と、災害など有事の際の対策を実現します。

特長2 パラメータ設計の機能優位性

「ZAC Enterprise」はユーザー企業個々の要望に対して、パッケージ内部のパラメータを設定することにより機能適合するため、個別開発を必要とする従来システムに比べ、低コスト・短期間での ERP 導入を実現しています。パラメータはユーザーの要望を反映し日々追加されるため、常に成長・進化を続ける設計となっています。



パラメータ設計のイメージ

特長3 広告・IT・コンサルティングなどのサービス業に特化

「ZAC Enterprise」は広告業・IT サービス業・ソフトウェア開発業・コンサルティング業などのサービス業に特化しています。プロジェクト管理会計、個別原価計算など、上記業種・業態に必要なとされる機能要件・仕様をパラメータとして多数保有しており、サービス業のベストプラクティスを多数搭載した ERP と言えます。

主な導入企業（順不同）

株式会社カヤック	株式会社サニーサイドアップ
株式会社 JAL インフォテック	株式会社ベクトル
株式会社クロス・マーケティング	株式会社京急アドエンタープライズ
住友林業情報システム株式会社	株式会社 JTB プランニングネットワーク
みらいコンサルティング株式会社	株式会社アイ・エム・ジェイ
株式会社 INA 新建築研究所	太陽有限責任監査法人

■ 株式会社オロについて <https://www.oro.com/>

オロは、創業以来、「より多くの幸せ・喜びを提供する企業」になることを経営理念と定め、事業運営を行っています。その実現のために、「Technology×Creative」をスローガンに最先端の技術分野に挑戦し続け、テクノロジー・オリエンテッド・カンパニー（技術志向の企業）として、企業の内側と外側を強くするソリューションを提供しています。企業の内側を強くするソリューションとは、業務効率化や生産性向上などの経営課題を解決するサービスのことで、クラウド ERP「ZAC Enterprise」の開発を中心に、IT ソリューションを提供しています。企業の外側を強くするソリューションとは、企業が外部に対して行うマーケティング・広報・採用活動等を支援するサービスのことで、デジタルを基軸としたコミュニケーション戦略の立案・実行を中心とするウェブマーケティング、ウェブインテグレーションを提供しています。

■ 会社概要

社名	株式会社オロ	https://www.oro.com/
設立	1999年1月	
代表者	代表取締役社長 川田 篤	
従業員数	単体 199人 / 連結 337人 (2017年12月31日現在)	
事業内容	ビジネスソリューション事業 ・クラウド ERP「ZAC Enterprise」 (https://www.oro.com/zac/) の開発・提供 ・クラウド PSA「Reforma PSA」 (https://www.oro.com/reforma-psa/) の開発・提供 コミュニケーションデザイン事業 ・企業のデジタルマーケティング支援 (https://www.oro.com/cd/) ・企業のグローバルコミュニケーション支援 (https://www.oro.com/global/)	
所在地	東京本社	東京都目黒区目黒 3-9-1 目黒須田ビル
	西日本支社	大阪府大市中央区伏見町 4-4-1 日生伏見町ビル本館 7階
	中部支社	愛知県名古屋市中区錦 2-15-19 アゼット錦 3階
	北海道支社	北海道札幌市中央区北一条西 6-2 損保ジャパン日本興亜札幌ビル4階
国内子会社	株式会社オロ宮崎	宮崎県宮崎市橘通西 2-4-20 アクア宮崎ビル
海外現地法人	中国・台湾	欧楽科技（大連）有限公司 欧楽科技（大連）有限公司 上海分公司 欧楽科技（大連）有限公司 広州分公司 大連奥楽广告有限公司 台湾奥楽股份有限公司
	ASEAN	ORO Malaysia Sdn. Bhd. ORO Vietnam Co., Ltd. ORO (Thailand) Co., Ltd.